

ほしのディスコさん インタビュー

子どもの頃の
ニックネーム
かーくん



沼田の魅力は？

のどかなところが
一番好きです

普段、暮らしている東京は、せわしいですね。歩く人のスピードが速くて、人が多くて息が詰まります。沼田は落ち着く感じが好きで、癒やされます。空気が澄んでいて、夜は東京と違ってちゃんと暗くなるし、星もきれいでいいですね。

好きだった給食のメニューは？

納豆マヨネーズ

納豆は、今も毎日食べるほど大好きなのですが、納豆マヨネーズの影響で、何にでも合わせて食べるようになりました。特に、カレーに合わせるとおいしいですよ。おすすめです。



思い出のある
方言は？

方言と言われると思いつかないのですが、**祖母が口にする「おっかねえ」という言葉が印象に残っています。**祖母はニュースを観ているときに、「東京はおっかねえ」とか言っていますね。

沼田で好きな食べ物は？

リンゴが好き！！

沼田にいるときは、季節になると毎日食べていました。実家には、いただきもののリンゴがあふれていて、買った記憶がないです。今思えばいい生活でしたね…今は、沼田市にふるさと納税をして、返礼品でもらった原田農園のリンゴジュースを愛飲しています。

帰ってきたときの過ごし方は？

家族とゆっくり過ごしています

今は、年に1~2回帰っています。家族と色々な話をしたり、実家で両親が飼っている柴犬の散歩をしたりしています。沼田は時間の流れがゆっくりに感じて、何も考えずにしっかり休めますね。

演技と音楽を学び
深めた沼田生時代

沼田高校では、将来を見据えて演劇部に入学しました。「お笑いのために」と入学しましたが、最近ではドラマに呼んでいただけられるようになり、演技を褒められるので、思いがけない形で役に立っています。学校の帰り道には、文真堂書店でCDをレンタルして音楽の知識を深めました。MDにダビングしたものを繰り返し聞いて、風呂場など自宅で口ずさみ楽しんでいましたね」と、高校卒業まで過ごした18年間のさまざまな経験が、現在につながっています。

幼い頃からお笑いとお歌が大好きで、すでに小学生からお笑い芸人になると決意していました。小学校では同級生とコンビを組んで、クラスで漫才を披露、中学校では文化祭の大舞台に立ちました。歌うことも好きでしたが、この頃の一人に笑ってもらおう」という喜びが、お笑い芸人を志すきっかけになりました。

沼田市親善大使に就任 お笑い芸人 ほしのディスコさん

いつか、地元に貢献
できたらと思ってい
たのでうれしいです

Profile

本名 星野一成さん
生年月日 1989年10月23日(34歳)
出身地区 白沢町上古語父
(小学生まで尾合に居住)
母校
白沢保育園
白沢小学校
白沢中学校(バスケ部)
沼田高等学校(演劇部)

沼田では、本市の魅力発信し、認知度とイメージの向上を図り、市民の誇りや愛着の醸成により、元気に楽しく暮らせる地域づくりのために「沼田市親善大使」を設置しています。

プロ野球・埼玉西武ライオンズの高橋光成投手に続き、2人目の親善大使として、お笑い芸人のほしのディスコさんを任命しました。

お笑い、歌、役者：多方面で才能を発揮

ほしのさんは、沼田高校卒業後、お笑い芸人を志して上京しました。一人芸の日本一を競う「R-1」グランプリ2020「決勝への出場を果たしたほか、持ち前の歌唱力を生かし、歌やユーチューバーとしても活躍しています。最近では、自著「星屑物語」を発行、ドラマへの出演など、多方面で才能を発揮しています。



生まれ育った白沢町にて

ゆまぬ努力はもちろんのこと、子どもの頃の経験も影響していると話します。

「いい意味で沼田市は田舎で自然にあふれていて、ゲームとかで遊ぶよりは、山へ探検に行ったり外で遊ぶことが多かったです。自由に遊ぶ経験が、お笑いのネタ作りなど自由な発想に役立っていると思います。自分だけのやり方を見つけました」と話し、「友だちと下段(旧白沢村尾合)から上段(同村上古語父)まで道なき道を探検したり、山へ宝探しに行ったり。宝探しといっても、何も見つからないのですけどね。用水路に葉っぱを流してレースをしたりして遊んでいました」と懐かしみ、目を細めました。